

ASEAN 及びタイにおける雇用環境の変化
 ～各国の比較とコロナ禍への対応～
 一般調査報告書

要旨

経済発展度合いの異なる国々が統合された ASEAN では、国ごとの雇用構造にも多様性があります。各国とも長引くコロナ禍により経済面で大きなダメージを受け、雇用対策は喫緊の課題となっています。特に、学生の教育から就職までをサポートしなくてはならない大学では待ったなしの対応が求められています。そこで今回のレポートでは、①ASEAN 各国における雇用環境の分析、②長引くコロナ禍がタイの雇用環境に与える影響、③泰日工業大学におけるコロナ禍への対応を紹介します。

1. ASEAN 各国における雇用環境の分析

はじめに ASEAN の国別労働者数と主要産業別の労働者割合を図 1 に示します。人口の多いインドネシアの労働者数が突出しており、ベトナム、タイ、フィリピンが続きます。ブルネイ、ラオス、シンガポールの労働者数は少なく、ASEAN 構成国の中に多様性があることを再認識させられます。

産業別労働者割合に注目すると、カンボジア、ミャンマー、ラオスでは 5 割弱が農林水産業に従事しています。製造業に従事する割合が高いのはマレーシア、ベトナム、タイで 20%前後、インドネシアで 15%となっています。ただし、ベトナム及びタイでは農林水産業に従事する労働者も 35%あり、かつこれら 1 次産業の労働生産性が 2・3 次産業のそれと比較して低いいため産業構造シフトの必要性を指摘する声もあります。

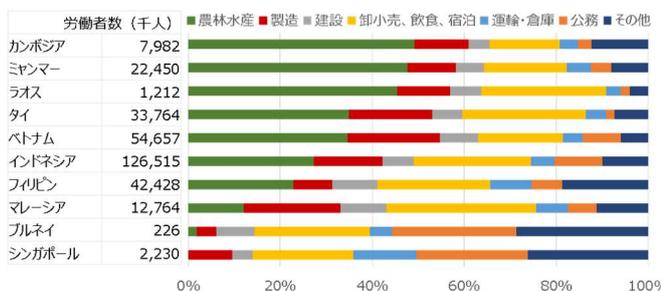


図 1 ASEAN の国別労働者数と産業別分布
 出所: ASEAN Statistical Yearbook 2020。原則として 2019 年時点。統計数値がない国は直近値を採用。

卸小売、飲食、宿泊の割合は、マレーシアで 3 割前

後とやや高く、その他の国では 25%程度の値です。

特徴的なのは石油と天然ガスが豊富で、エネルギー関連に従事する割合が高いブルネイと、金融関連に従事する割合が高いシンガポールです。これらの国は財政が安定していることもあり、公共サービス部門の割合も高くなっています。

表 1 ASEAN 各国の賃金水準

国名	ワーカー	エンジニア	中間管理職	賃金上昇率
ミャンマー	181	329	836	n.a.
ラオス	210	360	771	n.a.
カンボジア	222	408	1,003	n.a.
ベトナム	241	471	1,025	6.5%
フィリピン	272	409	1,092	5.3%
インドネシア	421	582	1,260	8.5%
マレーシア	431	867	1,650	5.6%
タイ	447	798	1,629	2.3%
シンガポール	1,907	2,813	4,306	4.6%

出所: JETRO 2020 年度 アジア大洋州・日本投資関連コスト比較調査(2021年3月)製造業の賃金を示し、単位は USD/月賃金上昇率は名目値で期間中最大のものを記載。ベトナムは JETRO ビジネス短信より最低賃金の上昇率を引用。

次に、表 1 で各国の賃金水準を比較します。シンガポールが突出して高額となっており、産業集積が進むタイ、マレーシア、インドネシアが第 2 集団を形成、フィリピン、ベトナム、カンボジアが第 3 集団、ラオス、ミャンマーが続く状況です。ワーカーとエンジニアの賃金差は 1.8 倍前後、ワーカーと中間管理職のそれは 4 倍前後の国が多く、シンガポールとインドネシアは職位による賃金差が少な目の傾向です。

調査期間はコロナ禍の前で、東南アジア各国とも経済成長著しい期間であったこともあり、名目賃金上昇率が高い状況でした(参考:同時期における名古屋の名目賃金上昇率の最大値は1.1%)。現状は、例えばベトナムで2021年の最低賃金を2020年から据え置くことが決定されるなど、コロナ禍の影響で業績が悪化している企業への配慮もみられます。今後、状況の改善とともに各国の賃金水準はどのように変化するのか要注目です。

表2 ASEAN各国の高等教育

国名	高等教育機関数	学生数(人)	高等教育進学率(%)
シンガポール	14	178,000	53
タイ	154	2,003,993	52
フィリピン	1,943	3,589,484	46
ブルネイ	5	11,292	41
インドネシア	4,537	約7,000,000	40
マレーシア	530	860,144	37
ベトナム	235	約2,000,000	32
ミャンマー	132	870,000	24
カンボジア	121	207,678	17
ラオス	80	82,868	15

出所:EUROPEAN UNION SUPPORT TO HIGHER EDUCATION IN THE ASEAN REGION 及び国連人口統計より作成。高等教育進学率は国連人口統計より大学進学世代の4か年分人口と学生数から算出した推計値。

エンジニアやマネージャー以上の階層の人材を採用する上で重要なのが各国の教育水準です。EUの関係機関が2019年に公表した調査レポートによると、東南アジア地域には7,000を超える高等教育機関(Higher Education Institutions)があり、1,200万人の学生が勉学に励んでいるとのこと。人口のバラつきが大きいため百万人あたりの高等教育機関数を比較してみたところ、フィリピン、インドネシア及びマレーシアが17カ所前後の値となり機関数は充実している結果となりました。フィリピンの友人に、「大学の数が多いのはなぜ?」と質問したところ、「島国で下宿するのが難しい学生が多いため、生活圏毎に大学を設置しているからではないか」との回答で納得感がありました。

インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムなどは高等教育を受ける学生数が豊富なため、相対的に高度人材を採用しやすい国と考えられます。大学進学率の統計は整備されていない国もあることから、学生数と大学生世代人口から推計値を算出してみました。経済成長の進む国の進学率が高い傾向は想像のとおりです。

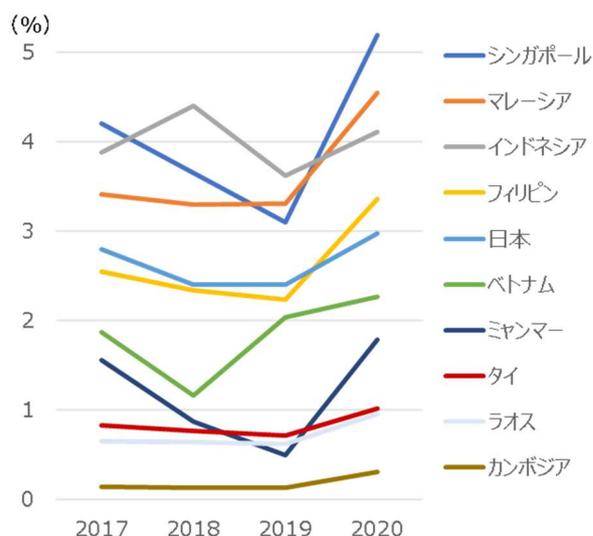


図2 ASEAN等の国別失業率の推移

出所:The World BankのWorld Development Indicators. ILOSTAT databaseを採用。

本章の最後に、各国の失業率の推移を比較します(図2)。2019年から2020年にかけて、全ての国で失業率が上昇していることから、東南アジアにおいてもコロナ禍の影響が大きいことが確認されます。

失業率は国の経済運営が順調に経過しているのかを把握する上で重要な指標です。ただし、経済的に発展した国では、就業者に新たな職業を探す余裕が生じるため高い失業率となる一方で、社会保障が未整備な国において労働者が職業の選好み出来ない環境下では低い失業率となる傾向もあります。また、農業など労働需要に季節変動が大きい業種では、統計を取るタイミングによって値が異なります。これらのことから、単純に国別の値を比較することは避けなくてはなりません。シンガポール、マレーシア、日本などの失業率がラオスやカンボジアよりも高いのは経済成長の違いも反映しているものと考えられます。

2. タイの雇用環境の現状

長引くコロナ禍により、タイの雇用環境にはどのような影響が出ているのでしょうか?タイ労働省の統計データから、タイにおける全産業及び業種別就業者数及び失業率の推移を図3にまとめました。全産業の統計では、就業者数は3,700万人前後で推移しており、コロナ禍が本格化する2020年第2四半期から失業率が上昇する傾向が見られます。



図3 タイにおける業種別就労人口と失業率の推移

出所：タイ労働省「Labor Market Warning System」より作成。左軸及び棒グラフ：就労人口、右軸及び折れ線グラフ：失業率

雇用の多くを吸収している農業は、第3・4四半期の就業者数が多い周期性があります。失業率は他の産業と比較して低い値で安定しています。ロックダウンによりバンコク都内での職を失った方々が地元に戻って農業に従事するといった報道も目にしました。

商業も従事者数の多い業種です。バンコク都内で廃業する空きテナントを多く目にする、多くの雇用が失われている印象を受けますが、就業者数や失業率の推移は全産業のそれと大きな差が見られません。同じく街中でレストランの廃業が目立つ飲食業では失業率が全体よりも高い一方で就業者数が微増する傾向も見られます。JETROの調査でも、失業をきっかけに日本食レストランを開業する事例が確認されており、起業しやすい分野であることも一因だと思われます。

外国人労働者のコロナクラスターが問題となった建設業では中止されるプロジェクトもあるためか、失業率が高い傾向です。製造業では、食品製造業の安定性が目立ちました。自動車関連は輸出を中心に好調な業況を受けて2021年から就業者数が増加しています。

渡航制限や観光需要の激減による影響を直接受ける宿泊業及び航空運輸業では失業率を示す右軸のス

ケールが異なるほど雇用環境の悪化が顕著です。なお、使用したデータセットは移動制限が最も厳しかった第3四半期の値が反映されていません。徐々に外国人観光客の受け入れに向けた準備も進んでいますが、社会のオンライン化が進む中で海外との往来や観光客の受け入れがコロナ前の水準まで戻る日は来るのでしょうか。

図4では失業給付金の申請者数の推移をまとめました。タイの失業給付金は、解雇の場合は日給の50%（上限1.5万バーツ）を180日以内、自己都合退職などの場合は日給の30%を90日以内支給される制度で、コロナ禍における支援を目的に、給付期限や割合が一時的に緩和されました。雇用保険の加入者数が就労者全体の3分の1以下であり、製造業や宿泊サービス業などの運営体制がしっかりとした業種では加入が一般的である一方で農業、商業、飲食業などの分野では加入者が限定的であるため、特定業種の傾向を強く反映することに留意して数値を見る必要があります。グラフから、2020年5月以降に給付申請数が急増しており、解雇理由の申請が目立ちます。解雇理由の場合、6カ月強の給付申請が認められるため、同年

10月から11月にかけて申請数の山を迎え、その後横ばいの状況が続いています。一時は解雇理由による申請が半数を超えており、コロナ禍による雇用環境へのダメージの深刻さがうかがい知れます。

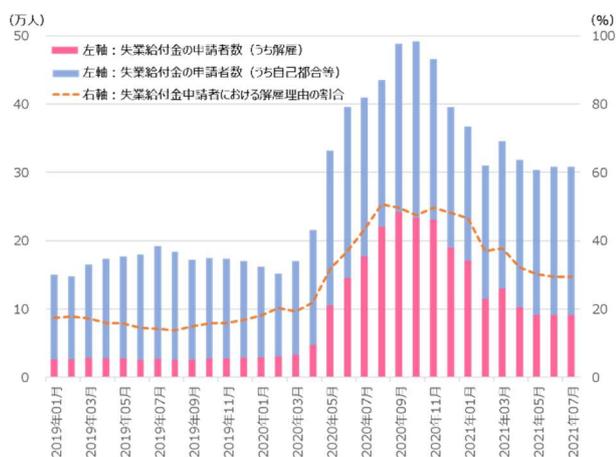


図4 タイにおける失業給付金の申請者数の推移
出所:タイ労働省。

3. 泰日工業大学におけるコロナ禍での取組

コロナ禍による活動制限は、大人数の学生がキャンパスに集まる大学の日常を世界中で大きく変えています。タイにおいても、特に本年4月頃から始まった新型コロナ第3波の感染拡大は甚大で、大学を含む教育機関の授業はオンラインに限定されています。大学は学生の教育や就職に対してどのように対応しているのでしょうか？今回、泰日工業大学(Thai-Nichi Institute of Technology 以下 TNI と記載)の山本 Lecture と逆井 Project Coordinator からお話をお聞きする機会を得ましたので、コロナ禍に対する TNI の取組を紹介いたします(TNI の特徴などについては、2020年9月1日付一般調査報告書参照)。

Q.1 現在の大学運営状況は如何ですか？

2020年度は前期(6月~9月)に希望する学生向けにオンライン授業を実施したことと、後期(11月~2月)の一部期間をオンラインに切り替えた以外は比較的通常の大学運営が可能でした。2021年4、5月の夏期講習期間以降はコロナ対策を踏まえた政府からの指示に従い、学生のキャンパス立ち入り禁止、教職員も原則として在宅勤務となっているため、全ての授業をオンラインで実施しています。

地方出身の学生の中には実家に戻ってオンライン

授業を受講する方も多いようです。本学では開学時からメンター制度を導入しておりますが、オンライン授業によりコミュニケーションの機会が減少した学生をケアするため、担当教員が継続して学生とコンタクトして丁寧なフォローに努めています。

Q.2 オンライン化による影響は如何ですか？

教員陣にはオンライン授業運営のノウハウが蓄積されており、講義室での一方的な講義と比較して、画面を通して個々の学生の理解度を確認したり、細やかに質疑応答に対応したりできるといったオンラインのメリットについても学内で議論されています。特に語学系のカリキュラムでは双方向性が増し、学生のレベルアップに有効という傾向もみられています。

また、協力関係にある日本の大学などとオンライン交流の機会創出に努め、海外との往来が制限された中でも学生が国際的な経験を積めるよう努力しています。さらに、全国の高校生などを対象に、オンラインで大学説明会を開催出来ることから、将来の学生確保についても効率的かつ効果的に取り組んでいます。

しかしながら、本学のコンセプトはインターンシップや実習を通じてのものづくりに関する実務的かつ実践的な技術と知識を兼ね備えた人材を育成することです。特に重視するインターンシップについて、企業側の協力もあり情報技術学部系の学生の多くはオンラインでの参加が叶っていますが、製造現場に直接赴く必要のある工学部系の学生は進捗が芳しくありません。実機を用いた実習や現場でのインターンシップはオンライン実施が難しく、後期以降のワクチン接種拡大と感染縮小を願わざるを得ない状況で、代替え措置として卒業論文の提出による単位認定も導入しています。

Q.3 学生の就職動向に変化はありますか？

タイでは大学卒業後に就職活動を行うことが珍しくないため、本学では例年4~6月に卒業した学生の就職状況を当該年末頃に確認しています。2020年4~6月卒業生の就職状況は表3のとおりです。これまで希望者のほぼ100%が就職出来ていたのに対し、今回の就職率は91%と低迷しており、コロナ禍の影響を実感しています。

表 3 2020 年度卒業生の就職状況

区分	実数	うち就職者	就職率
就職希望者	693 人	630 人	91%
進学者	127 人	0 人	-
進路未定者	122 人	0 人	-
学部卒業生計	942 人	630 人	67%

2021 年 4~6 月卒業生は、2021 年 1 月に実施を予定していたジョブフェアが新型コロナ第 2 波の影響で急遽オンラインのみに切り替わったことや、卒業後の就職活動時期が第 3 波の厳しい活動制限と重なっていることから、就職率がさらに低下することを危惧しています。今後も、新型コロナウイルスの感染状況に応じた活動制限に従いつつ、効果的に学生の就職をサポートできるように努めて参ります。多くの制約を受けるコロナ禍で社会や大学も手探りの運営を行っている中、諦めずに充実した学生生活を過ごすべく努力している学生たちは大きな潜在能力を有していると思います。企業の皆様におかれましては、彼らの採用について前向きにご検討いただけますと幸いです。

4. おわりに

バンコク都内の大型ショッピングモール、アイコンサイアム内に長城汽車 (GWM) の展示施設がオープンしました。階段や滑り台で 2 フロアを繋ぐレイアウトで、自動車の展示だけでなく、カフェやフリーデスク、セミナー会場などが設けられ、チャオプラヤ川の展望も楽しめ

る、開放感のある多目的スペースとなっていました。ここは以前、トヨタ自動車の展示場として活用されており、筆者も販売が始まったばかりのカローラクロスを眺めたことが記憶に残る場所でしたので、新興中国メーカーの展示施設に置き換わったことは、個人的にショッキングな出来事でした。展示車に試乗し、内装やドアの質感を試していると、店員の方に中国語で話しかけられたため、中国メーカーであることを強く感じました。タイの報道によると、GWM は今年 6 月にハイブリッド型 SUV を販売開始以来、着実に販売実績を伸ばしており、10 月 14 日に予約を開始した EV は 4,000 台を超える予約を受け付けたとのこと。これまで日系メーカーが保持してきたタイの自動車市場シェアがどう変化するのか注視してまいります。



図 5 GWM エクスペリエンスセンターの様子

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

バンコク産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。